



4号
JUN. 1st
2018

電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

あの雲が
おとしいった
雨に濡れてゐる
山頭火

S科の生徒のみなさんに期待すること

●国語科から昨年度末、次のような提案があった。

【・・・せっかく覚えた漢字もその場限りで「使える知識」になっていないのが実情である。また、漢字が分からないためテキストの内容を読み間違えたり、対話の中で用いられた言葉を間違えて解釈したり、言葉の意味が分からず伝達内容が正確に伝わらなかったりする場面は日常生活の場面でも多々見られる・・・】そのような理由から今年度から週1回漢字テストが行われるようになった。

■試験範囲は年度初めにあなたたち生徒に示され、その範囲は2ページ程度。少し勉強をすれば、必ず100点が取れるように考えられている。そして、この少しの勉強が家庭学習の習慣につながればという狙いもある。

●授業に行く、電子機械科2年では、漢字テストの優秀者が張り出されている。3回までの連続100点は2人。そのY君・M君も4回目の一つ間違い、**100点を取り続けることが絶えてしまった**。(彼らの名誉のため5回目は満点)

●さて、私の初任校は出雲工業高校。はじめから1年生を担当し、K君と出会った。出工では当時から漢字テストが実施され、英単テストと隔週で行われていた。そんな中、彼は授業中のケガで2、3日休むことがあり、出て来た朝礼後すぐにやって来て「先生、漢字テスト何点でしたか」と聞きに来ることがあった。

●その時、「良かったのでは・・・」と適当に答えたが、彼にとって100点はものすごく意味あることと後日知ることができた。**彼は入学にあたり、一つの目標を立てた。それは漢字テストで100点を取り続けることであった。**

●定期試験や当時行われていた実力テストではそう簡単に満点は取れない。が、範囲が分かっているテストでは、それも2ページ程度なら行けると彼は考え目標をたて、それを3年間やり通した。もちろん成績でも上位に名を連ねた。学期末の教務部長の話にはよく彼は登場したし、卒業式でも表彰を受けた。その彼は三菱重工・広島に就職をし、今でも年に一度、年賀状で消息を伝えてくれている。

「〇〇し、つづける」ということは、難しい分、素晴らしい効果をもってきてくれる

県総体期間の6月1日3限：先生が居なく授業ができません。したがって、校内の草刈り。選手も残った生徒も、みんなお疲れさま

